

第42回佐賀市長旗中学軟式野球大会要項

- 1 趣 旨 本大会は、佐賀市にある中学校の軟式野球部に所属し、軟式野球に親しむ青少年健全育成及び競技力向上を目的として行う。
- 2 主 催 佐賀市中学校体育連盟軟式野球専門部
- 3 共 催 佐賀市軟式野球連盟
- 4 後 援 佐賀市、佐賀市教育委員会
- 5 大会会場 佐賀市各中学校グラウンド
- 6 日 程 6月3日(日)、6月9日(土)、 ※予備日6月10日(日)
- 7 参加資格
 - ① 佐賀市の中学校に在籍する生徒によって構成される学校単一チームであり、学校長が認めているものであること。ただし、実行委員会が認めた場合は合同チームの出場を認める。
 - ② 本大会実行委員会に所属する教職員が監督するチームであること。
 - ③ 公認軟式野球B号ボールを使用しているチームであること。
 - ④ 硬式ボール使用するチームおよびその構成員の参加は認めない。
- 8 競技規則
 - ① 2018年度全日本軟式野球連盟競技規則及び全日本軟式野球連盟競技者必携取り決め事項、佐賀県中体連規則に準じて行う。
ただし、グラウンドルールはその中学校グラウンドのローカルルールを適用する。
 - ② 予選リーグは、すべて7回戦とする。同点の場合は引き分けとし、判定戦は行わない。
 - ③ コールドゲームは5回以降7点差以上、雨天等によるグラウンド不良のとき採用する。
 - ④ 準決勝、決勝は、7回を完了して同点の場合、引き続きタイブレーク方式(無死満塁・継続打者)を9回まで行う。9回を完了しても決着がつかないときは、最終出場者選手全員による抽選によって決定する。(ただし、決勝戦は除く)
 - ⑤ 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日7イニングまでとする。ただし、タイブレーク方式の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げるができる。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回(アウト1つ)未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。
 - ⑥ 出場選手のユニフォームの背番号は0番から27番までとし、監督は30番、コーチは29番、28番、主将は10番を付けること。
 - ⑦ 捕手はヘルメット・レガーズ・プロテクター・ファウルカップを必ず着用すること。
 - ⑧ 打者、次打者、走者、ベースコーチは両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを必ず着用すること。

- ⑨ 監督が投手のところに行ける回数の制限（8.06 関連）
監督が1試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式は、2イニングに1回行くことができる。
- ⑩ 守備側のタイムの回数制限
捕手または内野手が、1試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式は、2イニングに1回行くことができる。
- ⑪ 攻撃側のタイムの回数制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、タイブレーク方式は、2イニングに1回とする。

- 9 使用球 全日本軟式野球連盟公認球 B号ボールを使用する。
- 10 参加費 7,000円（試合球は各チームで準備をする。）
- 11 組合抽選会
及び参加費の徴収 平成30年4月26日（木）18時半 佐賀市立城北中学校
- 12 申し込み 試合当日までに、別添申込書を会場当番校顧問に提出する。
参加費は7,000円は4月26日（木）に鍋島中 中島まで
- 13 連絡先 佐賀市中体連軟式野球専門委員長 手島 将之（城北中） TEL 0952-30-9258
- 14 雨天時の態度決定 ※午前7時に行うがそれ以降は、各会場判断とする。

決勝トーナメント進出基準

- イ. 勝率 ①2勝 ②1勝1分 ③1勝1敗 ④2分
- ロ. 勝率が同じ場合は、対戦相手に勝った方を優先する。
- ハ. 決勝トーナメント進出の2チームが決まった場合は、順位を抽選で決める。
- ニ. 決勝トーナメント進出の2チームが決まらない場合は、該当チームによるタイブレークを行う。その際、試合の順番は抽選で決める。